

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぐらんぱ百舌鳥陵南			
○保護者評価実施期間	2024年8月1日 ～ 2024年9月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	2024年8月1日 ～ 2024年9月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2024年10月26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援学校での経験を生かした支援の提供が可能である。 医療や福祉でのつながりがあり、多職種での連携が可能である。	子どもの日ごろの様子を事業所内で話し合うことを心掛けている。	事業所での利用前に最近の子どもの状況などを伝えるようにする。 子どもの指導について医療的ケア、療育、保護者支援について研修を重ねて事業所スタッフの専門性を高める。
2	保護者からの相談内容に対して子供の実態に合わせて適切な助言やアドバイスができる。	子どもの日ごろの様子を事業所内で話し合うことを心掛けている。 指導医が訪問した際に子どもの相談内容について相談をしている。	子どもの指導について医療的ケア、療育、保護者支援について研修を重ねて事業所スタッフの専門性を高める。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時での対応について保護者への説明の機会が少ないと考えられる。	保護者に知らせる機会や方法が不十分だと考えられる。	保護者へ文書の配布やＨＰ上で周知していく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		ぐらんば百舌島陵南		公表日		2024年10月26日					
				利用児童数		13人		回収数		9	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	3		1		ご利用者様の安全に配慮してマットや仕切りなどできるだけ配慮したいと思っています。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7			2		利用者とスタッフの人数は1対1以上の配置をしております。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	1		1	トイレ時着脱の場所とトイレが離れている	おむつ交換や排せつの指導において安全面を配慮して取り組みたいと思います。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8			1		開所前に日頃から清掃や消毒作業を行い感染症の予防に努めています。			
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8			1		支援内容のお知らせを連絡帳や送迎時などいろいろな場面でお伝えしてまいります。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8			1	理学療法士、作業療法士のスタッフによる関わりがある場合、実施している内容を知りたい	事業所内でのリハビリの内容についてお知らせできるように努めてまいります。			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8			1		モニタリングや支援計画書の作成、説明を適切に進めてまいります。			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8			1		モニタリングや支援計画書の作成、説明を適切に進めてまいります。			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8			1		利用者様の実態に応じて適切に支援を進めてまいります。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8			1		利用者様の実態に応じて適切に支援を進めてまいります。			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	2	5	特に希望しない	放課後児童クラブや児童館との交流は行っておりませんが、希望があれば可能か検討します。			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					これまで通り、細やかな連絡を心掛けてまいります。			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8			1		モニタリングや支援計画書の作成、説明を適切に進めてまいります。			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1	2	2	参加型イベントより、参考になる情報を収集する方法など提供してほしい	家族支援に関しての研修会の情報等があれば積極的にライン等で発信してまいります。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7	2				連絡帳や送迎時にできるだけ状況を伝えるように努めていきます。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	2	1			定期的に事業所で面談は行っておりませんが、			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	1		1		利用者さんの発達やできることなど日ごろから話し合い共通理解を図ってまいります。			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	2	5	家族支援イベントなどは特に希望しない	家族支援に関しては個別に相談を受け付け支援できる機会を設けたいと考えています。			
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7			2		家族支援に関しては個別に相談を受け付け支援できる機会を設けたいと考えています。			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8			1	ラインでの連絡ができるので助かる	これまで通り、細やかな連絡を心掛けてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	2		3		初めての自己評価の結果を分析して、今後、安心してご利用いただける事業所づくりを進めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9					個人情報については細心の注意を払って取り組んでまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1		3	災害時の避難場所がわからないマニュアルに沿った訓練をできる範囲での実施をお願いしたい	避難訓練を適切に実施し、万が一の避難場所を保護者様に伝えてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			7		避難訓練を適切に実施し、万が一の避難場所を保護者様に伝えてまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	1		3		安全計画やBCP計画などHP上で確認できるように進めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6			3		事故等緊急時には速やかに保護者様に連絡するようにしています。その後の対応について個別のマニュアルを周知します。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7	2			楽しく過ごせた様子を連絡帳に記入しているので安心できていると思う	利用者様が見通しをもって楽しく利用できるように努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	2		1		楽しんで通える事業所をめざして今後も取り組んでまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	1				楽しんで通える事業所をめざして今後も取り組んでまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ぐらんぱ舌舌鳥陵南					公表日 2024年10月26日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。	6		子どもの実態に合わせて支援する場所を工夫しながら支援を行っている。	マットや仕切りなどで利用者の安全面や特性に応じた配慮を行う。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		できるだけ1対1以上の職員配置になるようにしている。	できるだけ1対1以上の職員配置になるようにする。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		予定カードを張る場所を黒色のマグネットシートにするなど子どもにとって見やすく汎化された絵カードを使っている。	子どもの特性（視覚優位、聴覚優位）に応じた室内環境を整えるように改善を進める。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		業務開始前や終了後に清掃している。	清掃した内容や、日付などが分かるようにカレンダーにて共有する。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		必要に応じて静養室を使用している。マットを立ててパーテーションのように使用している。	個別の部屋や場所の広さは十分ではないが、必要に応じてマットやクッションでの仕切りで確保するなどの工夫を行う。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		スタッフがグループラインや申し送りノートを活用している。	月に2回以上、支援内容や活動内容を検討する会議日を午前中に設定している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		事業所評価表を配布し保護者の意向等を把握する機会を設けている。	アンケートの内容について事業所内で話し合い改善に努める		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日頃からスタッフ間とのコミュニケーションが取れるように配慮している。	月に2回以上、支援内容や活動内容を検討する会議日を午前中に設定している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		現在、第三者の外部評価は行っていない。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		堺市やその他の研修案内等を配布して研修への参加を促している。	堺市やその他の研修案内等を配布して研修への参加を促している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		基本的な支援プログラムの作成についてHPで公表している。	基本的な支援プログラムの内容について事業所内で研修を進めていく。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		子どもや保護者からの聞き取りをもとに、個別情報シートにまとめ事業所内でニーズや課題を共有している。	アセスメントの理解や個別のニーズや課題を支援内容に反映するための知識や技能を事業所内で深めていくための研修を実施する。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		非常勤職員にも支援計画の内容を確認できるようにファイルを設置して閲覧できるようにしている。	アセスメントの理解や個別のニーズや課題を支援内容に反映するための知識や技能を事業所内で深めていくための研修を実施する。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		非常勤職員にも支援計画の内容を確認できるようにファイルを設置して閲覧できるようにしている。	アセスメントの理解や個別のニーズや課題を支援内容に反映するための知識や技能を事業所内で深めていくための研修を実施する。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		学校や病院において実施されたアセスメントを参考にしながら日々の行動観察においてアセスメントを実施している。	アセスメントの理解を深めるための研修を実施する。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		子どもや保護者のニーズに応じて提供する支援を適切に設定している。	基本的な支援プログラムの内容について事業所内で研修を進めていく。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		保育士・児童指導員が相談できる日を毎月、設けている。	活動した内容の振り返りを行い支援内容の改善に努める。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		保育士・児童指導員が相談できる日を毎月、設けている。	活動した内容の振り返りを行い支援内容の改善に努める。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		子どもの支援計画に応じて個別での制作やリハビリテーション、集団での朝の会での活動など状況に応じて支援している。	活動の振り返りを行い、個別や集団での活動について、支援内容の改善に努める。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		支援の開始前に一日のスケジュールの確認や担当者を決めながら支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		申し送りノートに記入するなどして、気付いた点を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		連絡ノートや支援記録を作成して記録に残している。	記録する時間を確保できるようにする。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		日頃から保護者とのコミュニケーションをとることを心がけている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		サービス担当者会議にはサービス管理担当者と主としてかかわる保育士又は児童指導員が参加するようにしている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		個々の利用者に応じた支援ツールや、選択方法を提示するなどして、自己選択できるようにしている。	個々の利用者に応じた支援ツール等の開発をする。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		サービス担当者会議にはサービス管理担当者と主としてかかわる保育士又は児童指導員が参加するようにしている。	必要に応じて、看護師やリハビリスタッフの参加を検討する。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		送迎時に、担任教員等との情報共有を行っている。	機会があれば事業所として支援できる体制がある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		送迎時に、担任教員等との情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		新就学児の利用がない。	相談支援員等と連携しながら就学前に利用していた施設・事業所等の支援内容について情報共有していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1	高等部卒業予定の利用者がいない。	相談支援員等と連携しながら学校卒業後の進路やこれまでの支援内容について情報提供をする。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		アイワサポート研修などを受講できる体制を進め職員のスキルアップを図っていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	2	依頼があれば連携を図る体制がある。	依頼があれば連携を図っていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	1	依頼があれば連携を図る体制がある。	要請があれば積極的に参加する。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎の際や連絡帳等で子どもの課題について共通理解を図るよう心掛けている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	1	家族のニーズに合った支援プログラムの情報を取得できるように心がけている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に書面と口頭で丁寧に説明することを心がけている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		見学时やモニタリングにおいて子どもや保護者の意思を尊重できるように心がけている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		支援計画書を示しながら支援内容の説明を行い同意を得るように心がけている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2		定期的に子育て等に関する相談会は行っていないが、日頃から家族の相談に乗れるように心がけている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	2		保護者会の要望があれば定期的に開催する方向で検討する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		速やかにスタッフ間で状況を確認したうえで、保護者に丁寧に説明している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		インスタグラムを活用して日々の活動を発信している。	インスタグラムの発信頻度や内容の充実に努める。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		契約時に、個人情報の取扱いについて説明を行い、同意書をいただいている。個人情報が記載されているものは、鍵付きロッカーに保管している。	今後も取り扱いには十分に留意して運営していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		こどもには、サインや絵カードなどを使用してコミュニケーションを図っている。	個々の利用者に応じた支援ツール等の開発をする。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	1	地域の布団太鼓を見学し、青年団の方と写真やYouTubeの視聴など行った。	現在、地域を招待をしていないが、地域のお祭り（布団太鼓）の見学や地域住民と交流を進めたと考えている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		各種マニュアルを策定している。	各種マニュアルの周知に努めるとともに、より実効性のある訓練を実施する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		防災物品の整備・確認を行っている。業務継続計画を策定している。	防災物品の点検を行うとともに、業務継続計画の周知に努め、より実効性のある訓練を行う。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		契約時に、各種保健情報の聞き取りを行うとともに、お薬手帳の写などの情報をいただいている。	契約時の状況からの変化・変更について、
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		食物アレルギーのある利用者はいない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画について策定している。	状況の変化に対応できるよう、必要に応じて内容を更新していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		安全計画について策定している。	今後HP、保護者に配布するなどの周知を行う。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			ヒヤリハットがあった場合はデータとして保存してスタッフ誰もが共有できるようにしている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			身体拘束・虐待防止委員会を開催して子どもの身体拘束について適切に取り組む。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			身体拘束・虐待防止委員会を開催して子どもの身体拘束について適切に取り組む。